

【件名】	目黒川防潮堤建設工事（三嶽橋上流）その7	【事務所名】	第二建設事務所	
【工事場所】	東京都品川区広町一丁目地内から同区大崎一丁目地内まで（目黒川）	【受注者名】	大豊建設株式会社	
【工期】	令和4年10月3日から令和5年5月10日まで	【主たる技術者名】	高橋 晋	

【工事概要】

本工事は、「目黒川流域河川整備計画」に基づき、高潮（A.P.+4.1m）に対応できる防潮堤の整備を目的とし、目黒川の三嶽橋上流において、防潮堤の前段となる鋼管杭、土留鋼矢板の打設を行ったものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事現場は、JR東海の重要構造物である東海道新幹線や、河川を横断し埋設されているガス管との近接による施工の困難さや、施工時間に制限のある夜間施工など、条件の厳しい現場であったが、受注者は関係者との事前協議を的確に行い、現場での安全管理を徹底することで事故無く工事を完了させた。

また、鋼管杭打設の際、地中に障害物があることが判明したが、迅速な報告、対応案の提出がなされ、施工を行うことで、工事中止を最小限に収めた。



施工前

施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

河川内の施工箇所を目視で確認することが困難なガス管が埋設されており、施工時に損傷させてしまうと、重大災害につながる恐れがあった。このため、ガス管を損傷させないように施工する方策の検討に苦労した。

◇ 特に工夫した点

事前のボーリング探査によって把握したガス管位置を単管パイプ及び目印ポールを使用して明示し、施工時に目視で確認できるように工夫した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

作業制約が多い箇所での施工であるため、工種毎に線密な施工計画をし関係機関との調整が必要であった。円滑に調整を行ったことで、トラブル等による工事遅延がなく無事故で工事を完了することができたこと。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

施工中は、地域の方や交通利用者等から多くの苦情をいただくことがあります。建設業が安定した生活基盤を確保するために必要であることをよく理解していただき、誇りをもって仕事をさせていただきたいです。



工事名	目黒川防潮堤建設工事（三嶽橋上流）その7	
工種	仮設工	測点
反力陸台用鋼矢板工 鋼矢板打設状況		
施工者	大豊建設株式会社	撮影日 R5年3月4日